

15 陸の豊かさも
守ろう



4 陸の美しい風景を
みんなに



2 自然を
守ろう



希少植物や伝統作物の起源・多様性の解明

私たちの周りには様々な植物があふれています。しかし、身近な植物がどんなルーツを持ち、どの程度の多様性をもっているかについてはほとんど知られていません。私たちは、山形県の県花“ベニバナ”、伝統的な繊維作物“青芋（アオソ）”、飛島と佐渡島の固有植物“トビシマカンソウ”、希少な耐湿性野生ムギ類“ミスタカモシ”などのDNA解析を行い、系統的起源と多様性の解明を目指しています。

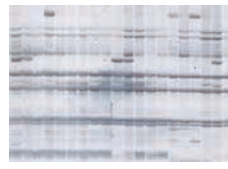
これらの植物は私たちにとって非常に身近で地域のシンボルになっていますが、数が減少し絶滅危惧種になっているものもあります。これらを保全し、希少植物や伝統作物を後世に残していくため、多様性を把握することは重要です。また、これらの研究は自治体やNPO、ジオパークとの連携で行っており、地域住民や未来を背負う子供たちの自然への理解を深める教育にもつながっています。



山形県の県花
“ベニバナ”



佐渡島と飛島の固有植物
“トビシマカンソウ”



ベニバナのDNA解析法の1例。
AFLP法により世界のベニバナ
の多様性を検出したもの。

身近な植物や作物の起源・多様性を解明することで、遺伝資源の保全に貢献します。また、これを通じて、地域の人々や子供たちの身近な植物への理解を深め、質の高い教育の普及に貢献します

【担当】

名前：笹沼恒男

専門分野：植物遺伝・育種学

連絡先：

sasanuma@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp